

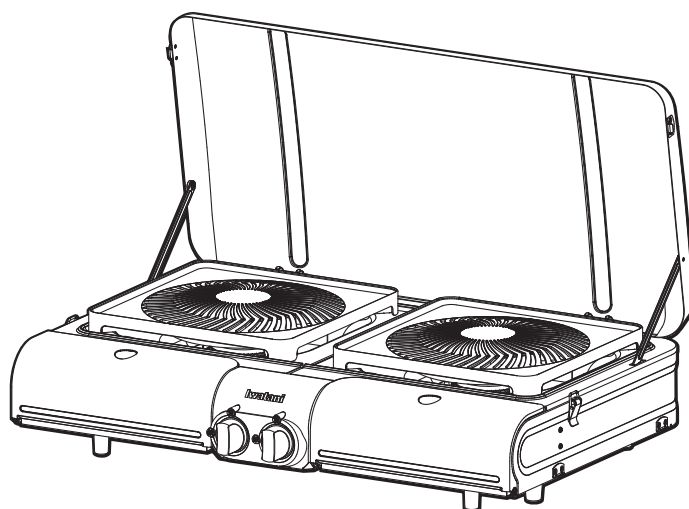
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

取扱説明書

イワタニ
スタンドBBQグリル
グリルスター

CB-SBG-1




このたびは、本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本商品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。そしてお使いになる方がいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。
【保証書付：裏表紙が保証書になっています。】



本商品は一般的なご家庭でご利用いただくものです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損のおそれがあります。本取扱説明書に記載されている内容をまもり、正しくご使用ください。

〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

〈絵表示には次のような意味があります〉

 一般的な危険・警告・注意  必ず行う  一般的な禁止  火気禁止  接触禁止  分解禁止

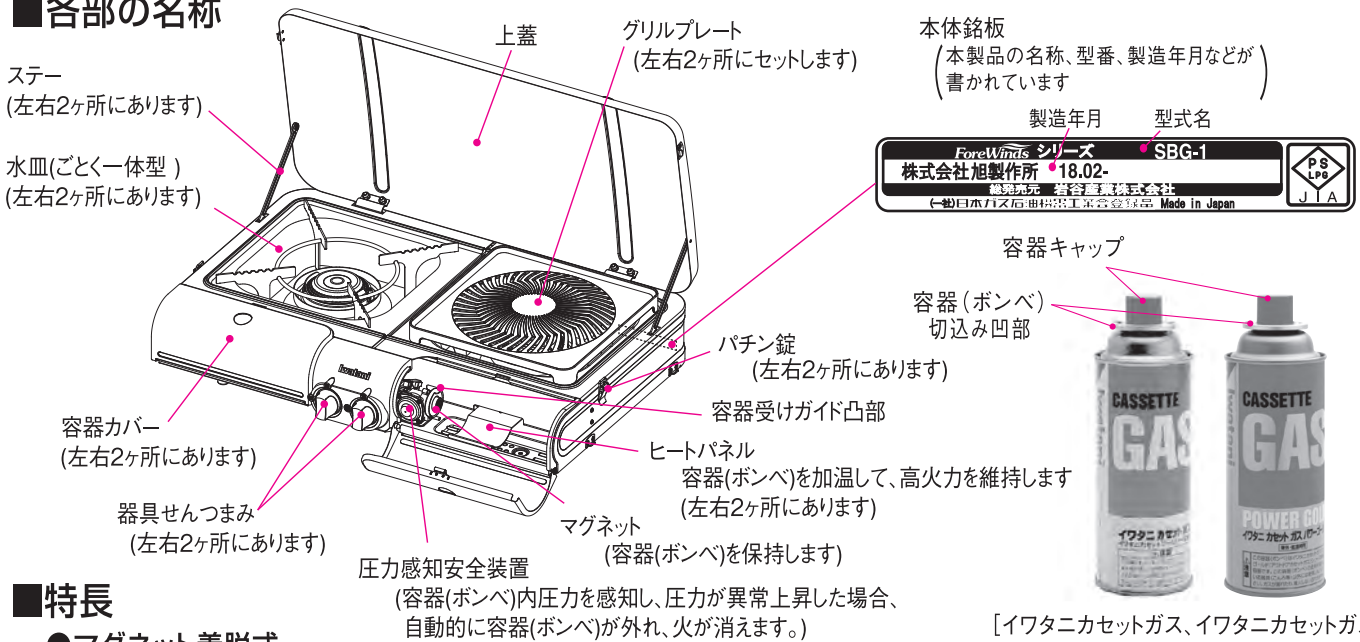
Iwatani

目次

1. 各部の名称、仕様、特長……………2
- 2. 特に注意していただきたいこと……………3～5**
3. 使用方法……………6～7
4. 日常の点検・手入れ、故障・異常時の処置……………8～9
5. アフターサービス、保証書……………10～裏表紙

1. 各部の名称、仕様、特長

■各部の名称



■特長

●マグネット着脱式

容器 (ボンベ) の取り付け、取り外しが簡単なマグネット着脱式を採用しています。万一、容器 (ボンベ) が過熱しても自動的に容器 (ボンベ) が外れ、火が消えて安全です。(7ページの「使用方法」を参照してください)

●ヒートパネル方式

ヒートパネルの採用により、バーナーの熱を容器 (ボンベ) に伝えて、容器 (ボンベ) 内ガスの気化を促進させ、高火力を維持することができます。

【このため容器 (ボンベ) が熱くなりますが、異常ではありません】

●上蓋着脱方式

上蓋を取り外して使用することも可能です。

●危険防止のための安全装置

[1] 圧力感知安全装置

容器 (ボンベ) が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的に容器 (ボンベ) が外れ、ガスの流れが止まり、バーナーの火を消す装置です。

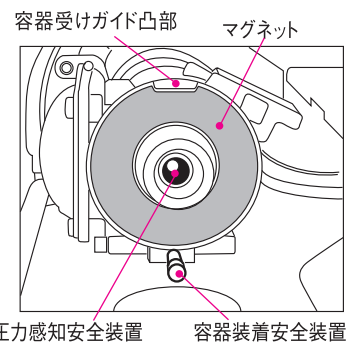
圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

- ① 器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。
- ② 容器 (ボンベ) を本製品から取り外してください。
- ③ 「特に注意していただきたいこと」をよく読んで、原因を取り除いてください。
- ④ 新しい容器 (ボンベ) をセットしてください。
[新しい容器 (ボンベ) がない場合には、外した容器 (ボンベ) を水で冷やしてからセットしてください。冷やさないと、再び容器 (ボンベ) が外れることがあります。]
- ⑤ 点火してください。もとどおり正常に使えます。

[2] 容器装着安全装置

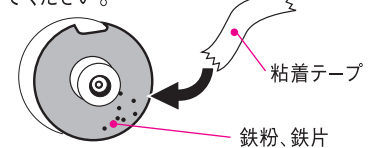
器具せんつまみが「消」になっていないと、容器 (ボンベ) が装着 (セット) できないようにした安全装置です。

[イワタニカセットガス、イワタニカセットガスパワーゴールド]と表示されているもの



■ボンベ装着時のご注意

マグネットの鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器 (ボンベ) がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



容器 (ボンベ) 装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。

■主な仕様

機種名	イワタニ スタンドBBQグリル グリルスター
型式	CB-SBG-1
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置 (容器離脱型) 容器装着安全装置
最大外形寸法 (使用状態)	627mm (幅) × 439mm (奥行) × 409mm (高さ)
本体重量	約 7.7kg (容器 (ボンベ) は含まず)
使用ガス	ブタンガス
出力 (ガス消費量)	3.3kW (2800kcal/h 236g/h) X2 <気温 20~25℃>
連続燃焼時間	イワタニカセットガス、イワタニカセットガスパワーゴールド 使用時: 約 70分 (各バーナー) <最大火力で新品容器 (ボンベ) を全て使用した時の実測値。気温 20~25℃>
使用容器	イワタニカセットガス、イワタニカセットガスパワーゴールド (但し、高温の場所で使用すると圧力感知安全装置が作動しやすくなりますので、標準ないし低温時にご使用ください)
使用できる鍋の大きさ	鍋底の直径が 24cm 以下で、鍋の側面・上面が本体上蓋に当たらない大きさのもの

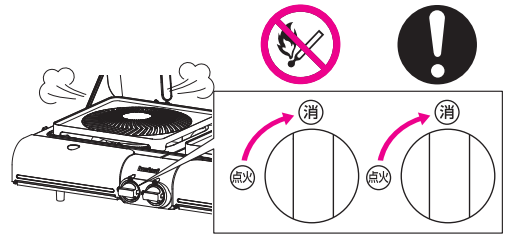
2. 特に注意していただきたいこと

⚠️ 危険 火災予防、ガス事故防止のために。

● ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのニオイ(くさった玉ねぎのようなニオイ)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり、本商品の周囲で火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。(引火により爆発のおそれがあります)

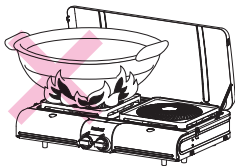
- ① 直ちに火を止める。(器具せんつまみを「消」の位置にする)
- ② 容器(ボンベ)を外す。
- ③ ガスのニオイがなくなるまでしばらく放置する。



① 容器(ボンベ)の過熱禁止について

⚠️ 警告 次のような使い方は容器(ボンベ)が過熱し、爆発の原因となりますので絶対にしないでください。

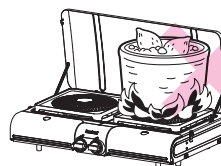
1) 調理器具の空だけは絶対しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



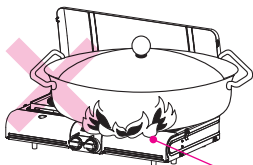
6) 石や砂、陶器などを使った焼きイモ器を使用しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



2) 容器カバーを覆ってしまう大きな調理器具(鍋、鉄板、ジンギスカン鍋、たこ焼き鉄板、魚焼き器、等)は使用しない



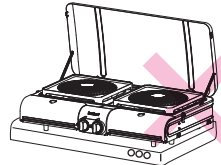
本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

小さい鍋をご使用になる際は、鍋が安定して載っていることを確認後、ご使用ください。鍋が転倒するおそれがあります。

容器カバー



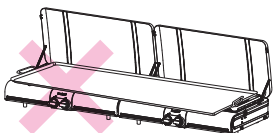
7) 他の熱源(電気こんろ、魚焼きグリルの排気口、電磁調理器、等)の上で、使用や保管をしない



間違っても電源が入ると容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。



3) 2台以上並べて使用しない



本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



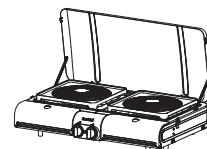
● 2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。

8) 火気の近くでは使用しない



火気からの輻射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

● 火気から2m以上離して使用してください。



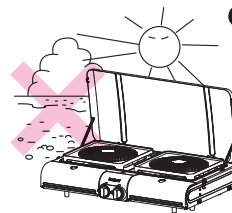
4) 炭の火起こしなどの用途には使用しない



木炭、練炭の火起こしなど炭をのせての使用は絶対にしないでください。輻射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



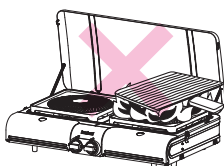
9) 容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しない



● 夏の砂浜、砂利、アスファルトなど日光によって容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



5) セラミック付焼網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器や魚焼き器、省エネごとく、省エネリング、燻製器、輻射熱の強い調理器具等は絶対に使用しない。またアルミホイルなどで、ごとくや焼き網等を覆ったりして使用しない



輻射熱により本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



10) カセットこんろの周囲に燃えやすいものや予備の燃料容器(ボンベ)を置かない

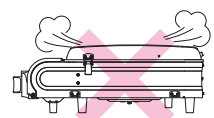


火災・爆発の原因となります。



11) 蓋を閉めた状態で使用しない

本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



2. 特に注意していただきたいこと

② 容器(ボンベ)の取扱いについて

警告 火災や爆発事故などの危険がありますので、次のこと必ずお守りください。

1) 火気の近くや熱気のある場所に放置しない

容器(ボンベ)は熱気を発生させる器具の周囲やたき火や炭火などの火気の近くには放置しないで下さい。熱で容器(ボンベ)内の圧力が上がり、爆発の原因になります。



2) 容器(ボンベ)の保管場所は火気や直射日光を避ける

火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避けて、必ず容器キャップをはめてから、風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。また使用後は容器(ボンベ)を本商品から必ず取り外し、同様の場所に保管してください。



3) 容器(ボンベ)は火中に投じない

容器(ボンベ)は火中に投じないでください。火中に投入すると爆発し危険です。



4) 完全に使い切ってから廃棄する

● 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする場合には、まだガスが残っています。湯を沸かすなどして使い切ってください。



● 使用済み容器(ボンベ)は、必ず完全に使い切ってから地域の取り決めに従って分別廃棄してください。容器(ボンベ)にガスが残っていますと清掃車の火災などのおそれがあります。



5) 容器(ボンベ)を装着したまま、移動、保管はしない

移動中の振動によるガス漏れ、長期装着によるガス漏れで火災のおそれがあります。使用しないときは容器(ボンベ)を外してください。



注意

1) 専用容器(ボンベ)を使用する

容器(ボンベ)は、必ず「イワタニカセットガス」「イワタニカセットガスパワーゴールド」の表示のある専用容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

2) 吸引危険

容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まないでください。酸欠により窒息死する原因となります。

3) 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない

落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

4) 変形のある容器(ボンベ)は使用しない

ガス漏れの原因となります。

5) 容器(ボンベ)は錆の無いことを確認して、製造日(缶底に西暦年月日で印字)から7年以内を目安に使い切ってください。

お願い

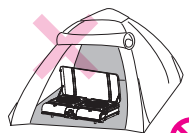
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項を、必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップを外し、保管のときは容器キャップを押し込んで装着してください。

③ 使用禁止場所について

警告 次のような場所での使用は絶対におこなわないでください。火災や死亡事故の原因となります。

1) 狭い場所や換気の悪い場所では使用しない

テント内や車内など狭い場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。また周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。



2) 火気や熱気のある場所では使用しない

過熱により爆発するおそれがあります。



3) 不安定な場所や接地面が安定していない場所では使用しない

使用中に本製品を傾けたり大きく動かすと、炎が大きくなることがあり、やけどや火災のおそれがあります。また、本製品が転倒するおそれがあり危険です。足場が安定した水平な場所でご使用ください。



4) 強い風のある状況では使用しない

強い風のある状況で本製品を使用すると、バーナーの炎が本製品本体に巻き込まれ、事故、本体焼損の原因になります。



注意

1) 風の吹き込む場所や風を吸い込む場所では使用しない

風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体を焦がすことがあります。



2) 直射日光が強くあたる場所や40℃以上になる場所での使用や放置はしない

容器(ボンベ)が過熱されて爆発のおそれがあります。



3) 雨天時や水気の多い所では使用しない

雨水、海水、夜霧のあたるところで使用すると、故障の原因となるおそれがあります。



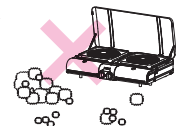
4) 地面が熱くなっている場所に放置しない

熱い場所に放置すると地面からの熱で容器(ボンベ)が過熱されて爆発のおそれがあります。



5) 底が砂や小石などで埋まる場所では使用しない

放熱が悪くなり、本体が焼損する場合があります。



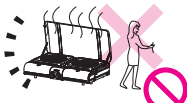
2. 特に注意していただきたいこと

④ 火災事故、ガス事故防止のために

警告 火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

1) 火を点けたままそばを離れない

火を点けたまま本製品のそばを離れないでください。空焚きや転倒などにより思わぬ事故の原因となります。



2) 引火のおそれのあるものを近くで使用しない

ヘアスプレー、ガソリン、灯油など、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。



3) 予備の容器(ボンベ)やヘアスプレーを周囲に置かない

本製品を使用中、近くに燃えやすいものや予備の容器(ボンベ)、ヘアスプレーなどを置かないでください。引火や爆発のおそれがあります。



4) 子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。



5) 使用後は容器(ボンベ)を取り外す

使用後は火災防止のため、容器(ボンベ)を必ず本製品から取り外してください。セットしたまま保管すると何らかの原因でつまみが回った場合、ガス漏れや引火の可能性があり危険です。



6) 一度で点火しなかった場合は引火に注意する

再点火の際は、ガスのニオイがなくなったことを確認してから行ってください。溜まったガスがあると引火する危険があります。



7) 絶対に改造・分解は行わない

分解は一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



8) 調理以外に使用しない

過熱や異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。



9) バーナーヘッド付近に顔や手を近づけない

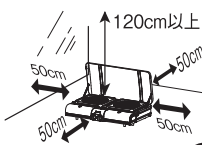
炎によりやけどのおそれがあります。



注意

1) 防災上必要な距離をとって設置する

使用の際には可燃物から周囲50cm以上離してご使用ください。本商品の上側にある物との間は120cm以上離してください。

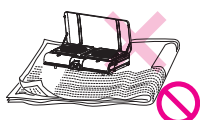


2) 使用中の本製品の底部はたいへん熱くなる

無垢材、一枚板、ガラス製のテーブル、漆塗り、塗装など熱に弱いテーブルの上でご使用されますと、テーブルの割れやひび、変形、変色、破損、焼損が起きるおそれがあります。テーブルに熱が伝わらないよう対策を行ったうえでご使用ください。



3) 本製品の下に燃えやすいもの、熱に弱いもの(テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など)を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。



4) 燃えやすいもの、熱に弱いもののそばで使用しない

引火による火災のおそれがあります。



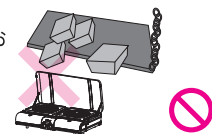
5) 火のついたまま傾けたり、移動させない

転倒するとやけどや火災の原因になります。



6) 落下物の危険がある場所で使用しない

引火や調理器具の転倒によるやけどのおそれがあります。



7) 消火直後の高温状態の本製品を収納しない

熱による変形や火災及びやけどのおそれがあります。



⑤ その他の使用上の注意

注意

1) この器具は調理専用の器具です。調理以外の用途には使用しないでください。過熱・異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。



2) 落下や転落する危険のある大きな調理器具や、不安定な調理器具は使用しないでください。



3) 使用の際は特にお子様に注意してください。

使用中、本製品周辺でのお子様の動きには十分注意してください。



4) 衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しないでください

衣類が落下するなど、火災の原因となります。



5) やけどに注意

使用中および消火直後の本体は高温になっています。消火した後もしばらくは器具せんつまみ以外には手を触れないでください。



6) 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々燃焼していることをお確かめください。



7) 異常時の処置

万一異常音、異常臭、赤火など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具せんつまみを「消」にして消火し、容器(ボンベ)を本体から取り外して本書9ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」を参照し、指示に従ってください。



8) ご使用の有無にかかわらず、古くなった本製品は、安全のためにご使用前の点検(有償)をおすすめします。

※部品保有期間が過ぎた製品は、修理できない場合もあります。

■製品の経年劣化に関するご注意

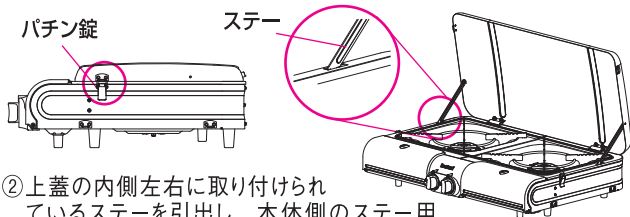
本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。本製品においては、製造後10年を目安に買い替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。

3. 使用方法

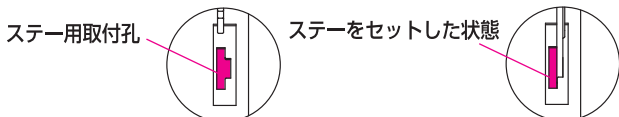
■使用前の準備と確認

上蓋の固定について

- ① 本体側面2箇所のパチン錠を解除して上蓋を開けてください。

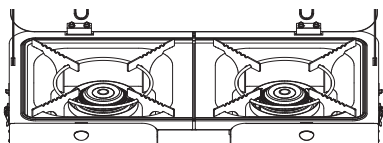


- ② 上蓋の内側左右に取り付けられているステーを引出し、本体側のステー用取付孔に差し込みセットします。



水皿の水量について

グリルプレート使用時は、水皿に水を入れてからご使用ください。
(分量は目安として約400ccです)



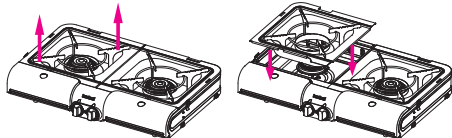
■水皿の取り外し・取り付け方

※使用中、消火直後の水皿は高温になっています。水皿を取り外す時は、本体が冷えてからおこなってください。

※水皿の取り付け、取り外しは上蓋を取り外してからおこなってください。

【取り外し】

【取り付け】



上蓋を外してから水皿のごとくを上方向に持ち上げると取り外すことができます。

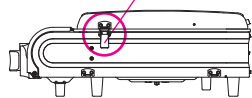
- 1) 水皿の中央孔を本体バーナーに対して垂直に合わせて、本体にはめこむように入れて取り付けます。
- 2) 左右お間違えのないように取り付けてください。

※水皿を取り外し、取り付けには電極を動かさないようにご注意ください。

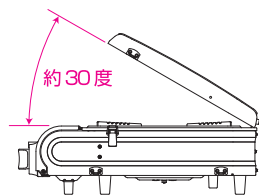
■上蓋の取り外し・取り付け方

上蓋を取り外して使うこともできます。

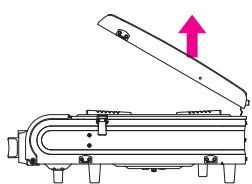
パチン錠



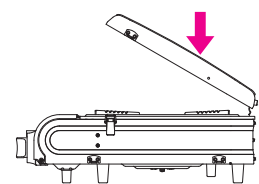
1. 本体側面2箇所のパチン錠を解除してください。



2. 上蓋を約30度くらい開けてください。



3. そのまま、矢印の方向に引き上げてください。



4. 取り付け方は逆の手順で行ってください。

■グリルプレートの取り扱いについて

初めてお使いになるときは、中性洗剤等で洗い、よく乾かしてからご使用ください。へらなどでこすると光沢ムラができることがありますが、使用上さしつかえありません。ご使用にともない調理面に色むらが出るがありますが、これは食品の油脂分や熱によるもので、使用上さしつかえありません。

■水皿の取り扱いについて

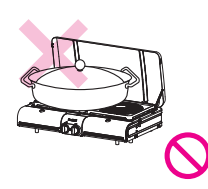
水皿はホーロー加工しています。表面がガラス質のため、耐久性に大変優れており、臭いがつきにくく、清潔さを保つことができますが、外部からの衝撃、変形に弱いのでご注意ください。衝撃や変形により、ガラス質が剥離しますと、金属面が露出しますので錆びやすくなります。ガラス質が剥離したときは、よく乾かしてから金属面に食用油を塗布しますと錆を防ぐことができます。

■ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください

- 風がある場合は、上蓋が風を防ぐ方向に本体を向けてご使用ください。
- 上蓋を取り外して使うこともできます。取り外し方は本ページに記載されています。



- ⚠ **警告** 使用できる鍋の大きさは鍋底の直径が24cm以下で鍋の側面、上面が上蓋に当たらない大きさとなりますが、目安内の調理器具でも不安定な場合や、上蓋に当たる場合は、ご使用をおやめください。



⚠ 警告 グリルプレートに関する注意

- 調理中や消火直後はグリルプレートを素手で持たないでください。グリルプレートが熱くなっていますので、やけどの恐れがあります。必ず鍋つかみ・ミンなどを使用してください。
- 空だきは絶対にしないでください。フッ素樹脂加工の劣化やはがれの原因になります。
- 金属製の調理器具は使わないでください。金属製のフォーク・ナイフなどはフッ素樹脂加工面を傷つけ、劣化やはがれの原因になります。
- 高温状態のグリルプレートを急激に冷やさないでください。急激な温度変化により変形するおそれがあります。

⚠ 警告 水皿に関する注意

- グリルプレート使用時は必ず水皿に水を入れてからご使用ください。水皿に水が入っていないと容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。
- 使用中は常に水のある状態を保ってください。水が無くなると水皿にたまった脂や調理物が燃えて、火災や容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります。
- 脂身を多く含んだ肉類や魚を調理しますと、落ちた脂で炎が大きくなる場合がありますので、注意してご使用ください。
- 長時間使用する場合は、30分を目安に水皿にたまった脂や調理物を取り除き、必ず注水してください。(目安として約400cc)水皿は高温になっています。必ず耐熱の手袋をご使用ください。
- 水皿に水以外のものは、絶対に入れないでください。
- ご使用後は水皿のお手入れを必ずしてください。水皿にたまった脂が過熱されて発火するおそれがあります。

⚠ 注意

- 高温の水皿を水などに浸けて急冷させないでください。水皿の変形やガラス質が剥離する場合があります。
- 金属タワシや刃物、磨き粉などは表面を傷つけますので、使用しないでください。

3. 使用方法

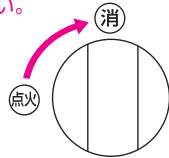
■使用場所の確認

使用する場所が、本書4ページの使用禁止場所に該当しないこと、および本書3ページ、5ページの危険、警告や注意の事項を守っている状態であることを確認してください。

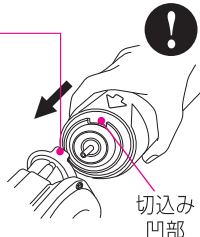
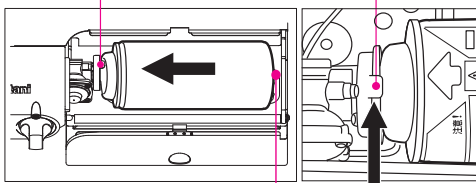
■容器(ボンベ)の取り付け

下記の手順に従って容器(ボンベ)の取り付けをおこなってください。誤った手順で取り付けを行うと、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

- 1) 容器カバーを開けてください。
- 2) 器具せんつまみを「消」の方向へ止まるまで回してください。
- 3) マグネットに異物が付着していないか確認してください。
- 4) 容器(ボンベ)の容器キャップを外してください。
- 5) ヒートパネルに容器(ボンベ)を載せ、この容器(ボンベ)の切込み凹部を容器受けガイド凸部に合わせます。そして、下図のイラストのように容器(ボンベ)の頭近くに手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、完全にマグネットに密着するまで押しつけて装着します。



容器受けガイド凸部



イワタニカセットガス使用時

ボンベが正しくセットされている時には、ボンベの後ろ側に約2cmのすきまがあります。

マグネットと容器(ボンベ)の間にすきまがないように確実に取り付けてください。

- 6) 容器(ボンベ)を装着したら容器カバーを閉じてください。

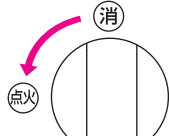
■使用方法

1. 点火する

●器具せんつまみを点火方向に「カチッ」と音のするまで回し、点火したことを確認してください。点火しない場合は、器具せんつまみをすぐに「消」位置まで戻し、繰り返し点火してください。

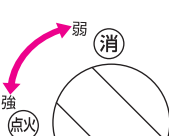
※点火ミスにより繰り返し点火操作をした場合、「ポッ」という音がして少し炎が上がることがあります。点火操作を行う場合は、顔や手をバーナーに近づけないでください。

※購入して初めてお使いの場合、電極の付近の炎が赤くなりますが、異常ではありません。数回使用されるとおさまります。



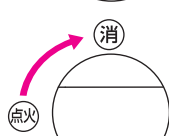
2. 火力を調整する

●つまみを「点火」方向に回すと火力を強く、「消」方向に回すと弱くすることができます。とろ火にする場合は必ず炎を確認してください。とろ火の場合、炎が見えにくくなります。



3. 消火する

●器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻し、消火してください。

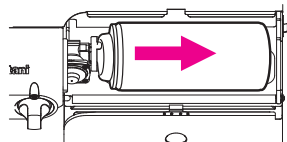


4. 使用後の確認

- 使用後は、完全に火が消えたことを確認してください。
- ※消火直後は本体・容器(ボンベ)とも熱くなっていますので、しばらくたってから必ず容器(ボンベ)を取り外してください。
- ※容器(ボンベ)を取り外さないと、器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。

5. 容器(ボンベ)を取り外す

- 容器カバーを開け、容器(ボンベ)を持って取り付ける時と逆の方向に、少し力を入れて水平にスライドさせてマグネットから取り外します。
- 取り外した容器(ボンベ)には必ずキャップをして保管してください。
- 容器(ボンベ)を取り外してから容器カバーを閉じてください。



■ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください



●使用前には必ず、ガス漏れの確認、点火・消火動作に異常のない事の確認をしてからご使用ください。

●故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。



●容器(ボンベ)の底部と本体の間に物(小石や厚紙の束など)をはさまないでください。圧力感知安全装置が働かなくなり、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります。



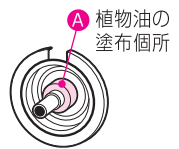
●容器(ボンベ)を確実に装着しないと、ガスが漏れて火災の原因となります。



●器具せんつまみが「消」の位置にないと容器装着安全装置(2ページ参照)が働き、容器(ボンベ)が装着できません。



●容器(ボンベ)の取り付け(装着力)が重い場合には、容器(ボンベ)の先端(右図A)に植物油を薄く塗ってください。



●未点火の状態ですぐに器具せんつまみを「消」以外の位置になっているとガスが出て危険です。ご注意ください。

●使い始めのときや、容器(ボンベ)の温度が低いときには点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。

※点火ミスにより繰り返し点火操作をした場合、「ポッ」という音がして少し炎が上がることがあります。点火操作を行う場合は、顔や手をバーナーに近づけないでください。

●点火したときに、バーナーより炎が離れて燃焼していることがあります。2~3分間、器具せんつまみを少し絞って使用してください。



●炎を小さくすると、風で消えやすくなりますので、ご注意ください。



●容器(ボンベ)を取り外した後も、本製品の配管には少量のガスが残っています。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。



●冬場など非常に低温の場所で使用するときに容器(ボンベ)の温度が低いと火力が弱くなる場合があります。そのような場合は15~25度くらいの場所で保管した容器(ボンベ)をご使用ください。



●大型の鍋をゴトクに載せたり本体に過大な荷重をかけないでください。転倒や本体の損傷による事故の原因となります。また、一度に大量の調理をするときなども過重状態となり、本体の変形や不安定になることによる転倒のおそれがあります。鍋などをゴトクに載せるときは、ゴトクの真上からゆっくりと置くようにしてください。



4. 日常の点検・手入れ、故障・異常時の処置

■点検・手入れの際のご注意 日常の点検、手入れは必ずおこなってください。

点 検	お手入れ方法	ご 注 意
煮こぼれ ・ 汚れの有無	固く絞った布で汚れをふき取ってください。 汚れのとれにくいときは中性洗剤で手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	水気や汚れを放置すると故障や錆の原因になりますので、常に内外をきれいにしておいてください。手入れの際は、電極を動かさないでください。
バーナーの 目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。（このとき、電極の位置を動かさないようにしてください。）	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーはつねにきれいにしておいてください。
電極の汚れ (点火しなくなった場合)	電極の汚れは、乾いた布で力を加えず、軽くふきとってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体・容器 (ボンベ)の汚れ	乾いた布でよくふいてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つける恐れがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器(ボンベ)を傷つけます。
グリルプレート・ 水皿の汚れ	食器用洗剤を使用し、柔らかいスポンジで洗い乾いた布で水気をふき取りよく乾かしてください。 ※研磨剤入りのスポンジや固いスポンジ、金属たわしは傷がつく恐れがあります。	「グリルプレート」はフッ素樹脂加工されています。お手入れの際にフッ素樹脂加工を傷つけないよう注意してください。 「グリルプレート」はつけおき洗いはしないでください。また、裏面の汚れや異物は取り除いてください。「水皿」が焦げついたときは、お湯に浸しておくなど焦げを柔らかくしてから洗ってください。 お手入れの際には、手や指の保護のためにゴム手袋などのご使用をお勧めします。

●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検修理をご依頼ください。



■長期間使用しないとき

- 本体などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 本製品の各部が十分冷えてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- 本製品に容器(ボンベ)をセットした状態のままで保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
- 本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないように手入れをおこなってください。

⚠ 注意

- 手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
- 点検・手入れの前には、必ず容器(ボンベ)を取り外してください。
- 点検、手入れはこんろが冷えてからおこなってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- 特に煮こぼれしたときは、必ずバーナーヘッドの掃除をおこなってください。

4. 日常の点検・手入れ、故障・異常時の処置

■故障・異常の見分けかたと処置方法 故障かな?とおもったら、次のことをお調べください。

原因	現象											処置方法	
	点火しにくい	点火しない	バーナーに火移りしない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	火力が弱い	ガスのニオイがする	使用中に消火した	消火しない	容器(ボンベ)がセッティングできない※1		器具せんつまみを「消」にしてもガスがもれる
他社容器(ボンベ)を使用している	●							●			●	●	イワタニ専用容器(ボンベ)を使用する
ガスが少なくなっている	●							●					新しい容器(ボンベ)に取り替える
ガスがなくなっている		●	●						●				新しい容器(ボンベ)に取り替える
電極部の汚れ・水分の付着	●	●											汚れ・水分をふきとる
バーナー炎口部の目づまり	●	●	●	●	●	●	●						金属ブラシなどで、目づまりを取り除く
点火操作が適切でない	●	●						●					正しい点火操作をする
ガス導管(ノズル)が詰まっている		●	●	●	●		●		●				点検修理を依頼する
器具せんつまみの故障	●	●							●			●	点検修理を依頼する
圧力感知安全装置が作動		●							●		●		2ページの「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させる
点火装置の故障		●											点検修理を依頼する
器具せんつまみが全開でない							●		●				器具せんつまみを全開にする
器具せんつまみが「消」になっていない											●		器具せんつまみを「消」にしてセットする
容器(ボンベ)のセッティング不良		●						●			●	●	容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットする
マグネットに鉄片、鉄粉が付着											●		粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除く
本体が変形している(歪み)											●		点検修理を依頼する

※1 上記処置方法でも改善されない場合は7ページの△注意※を参照してください。

■このような時は故障(異常)ではありません

製品を使用中に次のような症状が起きましたら故障ではありません。処置方法を参考に対処してください。

現象	原因	処置方法
■点火しにくい ●急に火花が飛ばなくなった。 ●電極からバーナーに火花が飛ばないで違うところに飛んでいる。	1) 電極とバーナーとの間隔がずれています。 2) 電極の白い部分(セラミック)に水滴が付着しているか汚れています。	●電極とバーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。電極の針先とバーナーとの距離が3mm程度、左右のズレがなく炎口の中心になるように調整してください。 ●水分、汚れにより漏電しています。取り除くとなおります。
■使用中、容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消えた。	1) 異常な使用のために容器(ボンベ)の温度が高くなって、 圧力感知安全装置が働いています。	●2ページの「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させてください。
■容器(ボンベ)が装着できない。装着してもすぐ外れてしまう。	1) 保管場所の温度が高く、容器(ボンベ)の温度が高くなり、 圧力感知安全装置が働いています。 2) マグネットに異物が付着しています。 3) 器具せんつまみが「消」になっていません。	●2ページの「ボンベ装着時のご注意」に従って異物を取り除いてください。 ●器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻してください。
■消火時に「ポッ」という音がある。	—	●火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。
■購入してから初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなる。	—	●数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。

5. アフターサービス

■サービス（修理、点検）を依頼される前に

- ①9ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」「このようなときは故障（異常）ではありません」の項をみてもう一度ご確認ください。
- ②正しいご使用にもかかわらず、万一故障した場合は、お買い上げの販売店、お客様相談室または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎ フリーダイヤル 0120-156269
FAX 03-5405-5637

（月曜～金曜 9：00～17：15）
（祝日、弊社休業日を除く）
携帯電話、PHS からは
03-5776-7457

アフターサービスをお申し付け
のときは、つぎのことをお知らせ
ください。

- ご住所、ご氏名、お電話番号
- 商品名、型式名(本体銘板のもの)
- 不具合内容(できるだけ詳しく)
- ご購入日

■保証について

- ①本商品には「保証書」がついています。保証書はお買い上げの販売店で発行しておりますので、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入されていることを確認して、お受け取りください。所定事項の記入がないと無効となりますので、記入がないときはお買い上げの販売店に申し出てください。
- ②万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
- ③保証書に記載されている無償修理規定以外は有償になります。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、5年間保有しています。

MEMO

5. アフターサービス

★保証書をご提示の上、アフターサービスをお申し込みください。

保証書

イワタニ スタンドBBQグリル グリルスター

型名	CB-SBG-1	製造番号	お名前
保証期間	本体 一年	お買い上げ日 □年□月□日 ~ □年□月□日まで	ご住所 お電話 ()
取扱販売店・住所・電話番号			本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

Iwatani 岩谷産業株式会社

〈無償修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提出の上、お買い上げ販売店（修理申出先）に依頼してください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、下記の岩谷産業へご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷
(ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷

(ホ) 保証書の提示がない場合

(ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合

5 保証書は日本国内においてのみ有効です。

6 保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

岩谷産業株式会社 カートリッジガス本部

〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 電話 03 (5405) 5615

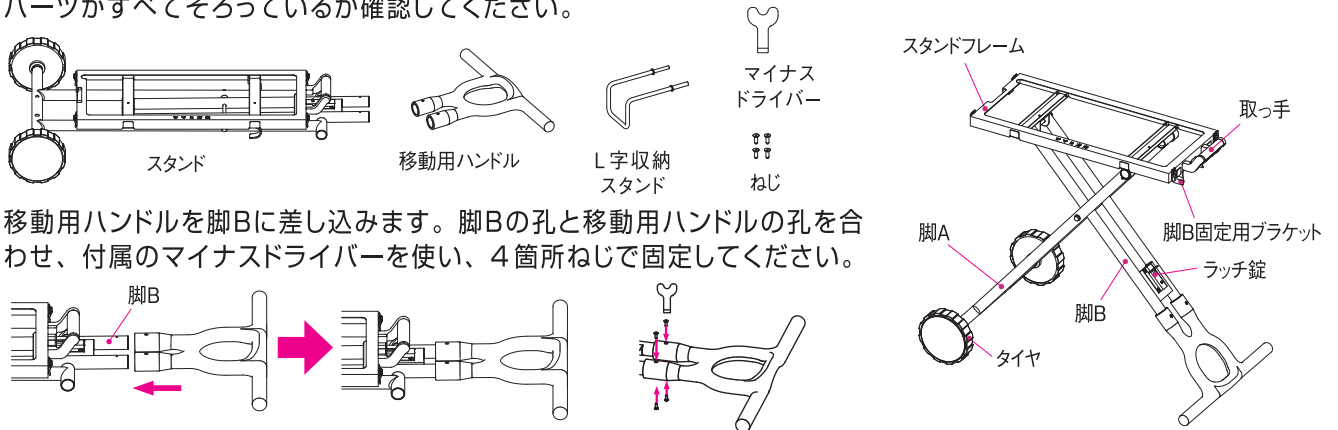
お客様相談室：フリーダイヤル 0120-156269

受付：月曜～金曜 9：00～17：15（祝日、弊社休業日を除く）

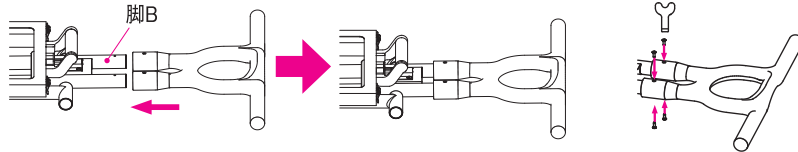
スタンドの使用法

■使用前の準備と確認

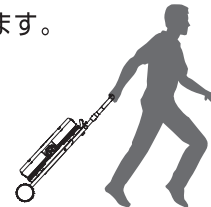
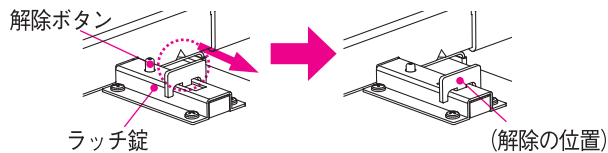
1. 箱からスタンド、移動用ハンドル、L字収納スタンド、ねじ、マイナスドライバーを取り出します。パーツがすべてそろっているか確認してください。



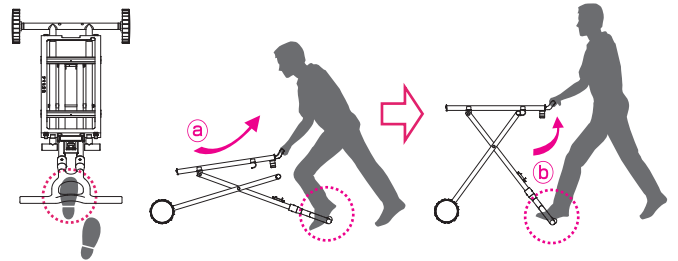
2. 移動用ハンドルを脚Bに差し込みます。脚Bの孔と移動用ハンドルの孔を合わせ、付属のマイナスドライバーを使い、4箇所ねじで固定してください。



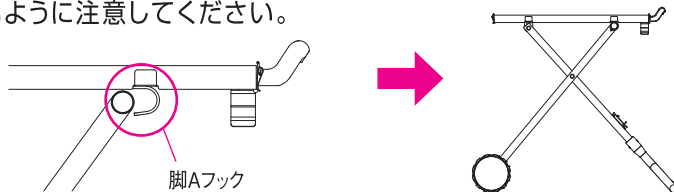
3. 移動用ハンドルを取り付けることで、タイヤを利用して移動できるようになります。
4. ラッチ錠の解除ボタンを押しロックを解除します。



5. 移動用ハンドルの中心を足で押さえ、取っ手を持ち、スタンドを矢印a)の方向に引き上げながら、タイヤを転がすようにスタンドが完全に立ち上がるまで矢印b)の方向に引っ張り上げます。

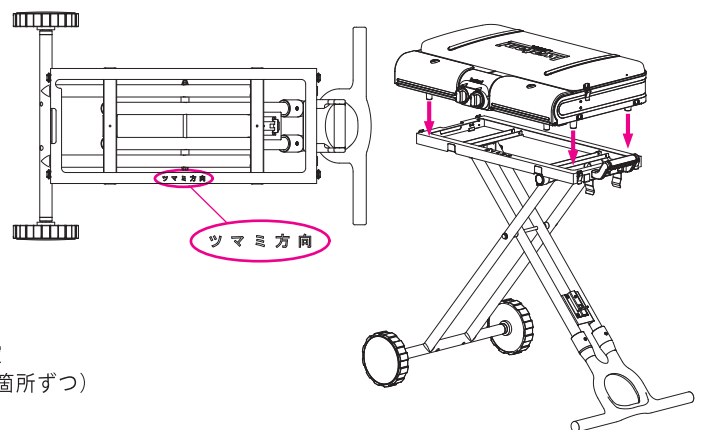


6. スタンドが完全に立ち上がるまで引っ張り上げたら、脚A上部を脚Aフックに引っかけて固定します。手や指が挟まらないように注意してください。

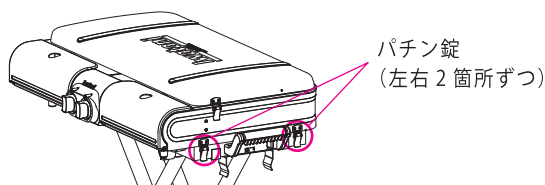


※完全に脚が固定されたことを確認してください。

7. 別箱から本体を取り出し、スタンドに載せます。本体のつまみ側をスタンドフレームに刻印されている「つまみ方向」の向きに合わせ、本体側面のパチン錠フックをスタンドフレームのパチン錠に合わせながらはめ込むように載せてください。手や指が挟まらないように注意してください。



8. 本体がスタンドに確実に載せられていることを確認したら、本体側面スタンド付近の4箇所のパチン錠をロックしてください。



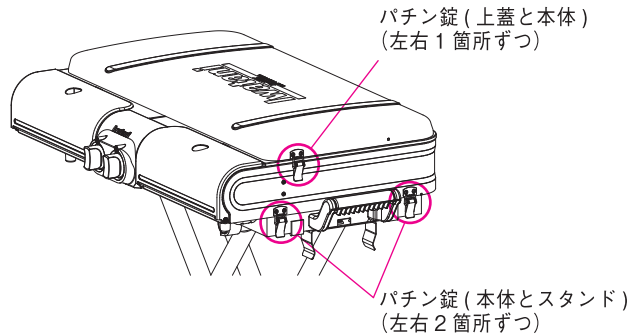
9. 本体の使用法については、本体に付属の取扱説明書をご覧ください。(裏面に収納方法を記載しておりますので合わせてお読みください)

収納方法

■ 収納

本製品は本体をスタンドに取り付けたまま収納が可能です。ただし、本体重量が約7.7kgありますのでケガに注意してください。収納する時は、本体が冷えてからおこなってください。また、各部に水滴や湿気がないように乾燥させて収納、保管してください。

1. 上蓋と本体を固定する2箇所のパチン錠と本体とスタンドを固定する4箇所のパチン錠をロックしていることを確認してください。



2. 移動用取っ手を足で押さえ、取っ手を持ち、本体を上を持ち上げるようにして本体裏の脚Aフックから脚Aを外します。その後、タイヤを転がすように本体を前方へゆっくりと降ろしながら、脚Bを脚B固定用ブラケットにはめ込むように固定し、ラッチ錠をロックします。

直立させて収納する場合は、タイヤ側のパイプにL字収納スタンドを差し込んで使用してください。

※L字収納スタンドは不安定な場所や接地面が安定していない場所では使用しないでください。

